

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業 ( <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー) <input checked="" type="checkbox"/> 國際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC <input type="checkbox"/> 地方 4 団体研修及び調査・研修事業		
自治体(団体) 事業名	佐々町・全国市町村国際文化研修所研修事業		
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名
	佐々町	総務課	南部 佳奈絵
事業期間	開始年	平成 29 年 8 月 (1 年目)	
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		
実施期間	(開始日) 平成 29 年 8 月 7 日    (完了日) 平成 29 年 11 月 10 日		
委託した場合の 委託内容	委託先機関名		担当者名
	(委託内容)		
研修及び調査・ 研究の目的  ※実施前に予想し ていた目標・目的を 記載ください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)	
	① 保育士  ② 財源確保に取り組む業務に携わる 企画財政課職員	① 最新の動向を踏まえ保育士として、より高度な知識と実務遂行能力の向上とともに、地域の子育て推進支援についての理解を深める。 ② 地方財政の現状と自治体の財源確保策の考え方を学び、既存財源の見直しや新たな財源確保において、事例や情報交換会等を通し導入の可能性等について理解を深める。	
研修及び調査・ 研究の具体的 な内容  ※事業をまったく 知らない人でも、事 業の実施内容や実 施方法の概要が分 かるように記載し てください。	① 【平成 29 年度保育士・幼稚園教諭のための保育行政～子育て支援施策の最新動向～】 1. 講義「これからの子育て支援の有り方と保育行政」 2. 事例紹介「現場はどのように変化していく必要があるのか」 3. 講義「保育相談支援のあり方」 4. 事例紹介「新しい取り組み～業務の負担軽減～」 5. 事例紹介「保育所・幼稚園等の地域子育て支援」 6. 講義・演習「より良い保育環境のためのコミュニケーション」 7. 講義「発達障害の子どもへの接し方」		
	② 【平成 29 年度 政策・実務研修「自治体の財源確保策」】 1. 講義「自治体の財源確保策～事例紹介理解のための基礎知識～」 2. 事例紹介①「施設使用料等の適正化」 3. 事例紹介②「自治体債権の一元管理」 4. 事例紹介③「クラウドファンディングによる歳入確保」 5. 事例紹介④「広告料収入・ネーミングライツ・企業タイアップ等による歳入確保 (公民連携の視点から)」 6. 事例紹介⑤「ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) の可能性と課題」 7. 演習「情報交換会」 8. 講義「総括講義」		
研修及び調査・ 研究の背景、 これまでの経緯 及び現状	(事業開始の背景) ①これまで、長崎県保育協会主催の研修を中心に参加している。研修内容については、発達障害の子どもに対する接し方や、子どもカウンセリング、認定子ども園の指導要領に関する研修等を受講してきた。 ②本町においてこれまで新たな財源確保についての研修受講やセミナー参加はなかった。また既存財源の見直しや新たな財源確保策について、その手法や効果などに関連する情報も少なく、検討が進んでいない状況であった。		

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

	(経緯・現状)
	①すべての子ども・子育て家庭を対象に幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充や、より安全で質の高い保育を行うため、また一方で不足している保育士の人材確保のため、教育現場の業務負担軽減が求められている。
	②地方自治体におけるヒト、モノ、カネの変化の中、行政サービスの均衡を図るため、また財政がますます逼迫していく状況の中、工夫を凝らし、歳入を確保、または歳出を削減していく必要がある。

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算			
事業費（円）		48,890	125,150	167,430			
(財源内訳)	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	市町振興共同事業助成金	32,593	83,432	111,618	111,618	111,618	
	一般財源	16,297	41,718	55,812	55,812	55,812	
目標・目的指標	指標名	指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	① 研修受講者数	研修機関への職員派遣事業であるため、受講者数を指標とした。	人	目標	1人	2人	3人
				実績	1人	2人	3人
				目標達成率 (%)	100%	100%	100%
	②			目標			
				実績			
				目標達成率 (%)			

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1)実施することによるメリット
	(内容、程度等)
	<p>①現在世帯主一人の収入で家族を養える時代が終わり共働き型の社会となり、それとあわせて急速に進む少子化を防ぐには充実した子育て支援が必要となっている。そうした中で結婚出産年齢の幅が広がり知り合いが少なく、相談できる相手や支えがない中で孤独の中で育児に悩む女性が多くなってきている。そういった中でより良い保育環境を作り、保護者に寄り添うことのできる職員の育成を期待できる。</p> <p>②今後地方自治体においては、全国的に人口減少・高齢社会化により人口減少が見込まれる一方、道路や橋梁、施設などの必要とされるインフラ資産についても老朽化が進んでいる。これらの要因に伴い民生費や施設整備に関する経費を筆頭に確実に支出が見込まれる中、行政が今後どう対応していくかについては重要な課題である。そのために新たな財源を確保する手法としてどういったものが成功し、なぜ成功したのか、その基本的な考え方とあわせて講義及び事例紹介により学ぶとともに、これにより財源確保策を検討する上での効果や課題、制約とともに、行政主導ではない、公民連携の視点を取り入れる</p>

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

こと、事業実施の可能性とその重要性を学ぶことができる。

### 4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した	<input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った
(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由		
<p>①現在、各自治体が抱える子育て支援や保育行政についての各種課題について学ぶことにより保育士としての必要な専門知識を習得するとともに、事例紹介や演習を通じて新たな視点や各自治体における取り組みを学び、実務遂行能力の向上が図られた。</p> <p>②地方財政の現状と自治体の財源確保策の基本的な考え方を学び、また既存財源の見直しや新たな財源確保において、事例や情報交換会等を通してその効果や課題について理解を深めることができた。</p>		
	(1) 事業への反映	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	<p>①子育て支援や保育行政について学び、保育士として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上が図られ、今後保育所運営の他、町の保育行政の事業実施の上で参考・反映できる。</p> <p>②既存財源の見直しや新たな財源確保の可能性について、研修で学んだことを元に、本町の財源確保について検討するにあたって、その効果や課題等についての知識や新たな視点を身につけることができた。</p>
	(2) 公共性の評価	(具体的な内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民への利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	<p>①子育て支援や保育行政について学び、保育士として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上が図られ、今後保育所運営の他、町の保育行政の事業実施の上で、将来的には住民への利益を還元できると思われる。</p> <p>②人口減少が進む中で、自治体の財源確保についてより難しい状況にある。 即効性のある施策については自治体規模等を踏まえると難しいと思うが、自治体の財源確保の可能性について、成功事例を通して継続的に研究・検討を続けることが、将来的には住民への利益につながっていくのではないかと考える。</p>

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 実施予定期				
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 実施予定期				
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<input type="checkbox"/> 実施予定期				

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

具体的な内容	<p>①現代社会において子育て支援の重要性を改めて感じ、本研修で学んだ保護者と寄り添うための技法を用いて悩みや要求を引き出せるように業務に活かしていきたい。また他市町・他県の職員との交流を通して、各自治体の子育て支援に関する取り組みについて情報交換ができる、本町の保育所でもできる支援を考えるいい機会となる研修となった。</p> <p>②公民連携の具体的な事例として歳入確保・経費削減につながる現実的な施策であるとは確信している一方で、自治体規模に応じて財源確保の課題を解決するためにも成功事例と照合しつつ継続した研究や、実際に導入を検討する場合の公平性を保つための法令規則等の整備が必要だと考える。</p>
--------	--